大団円

～校長室より～

二学期の取組で「新しい自分」と出会った久玉っ子１２１

長い二学期が終わろうとしています。「久玉っ子」１２１人が元気に終業式を迎えられることに感謝するとともに、本校の教育にご理解・ご支援いただきました保護者・地域の皆様に厚くお礼申し上げます。

おかげで充実した教育活動を展開することができ、活動の成果が「久玉っ子」一人一人の成長につながったものと確信しております。

「伸びる二学期にしよう」を合言葉にスタートしましたが、いろいろな取組を通じて「新しい自分」と出会うことができた「久玉っ子」が多かったように感じています。たとえば、

○元気なあいさつをして登校することができた久玉っ子

○無言で掃除に取り組み、きれいにしようと考えて取り組んだ久玉っ子

○靴のかかとをそろえたり、トイレのスリッパ並べがしようずにできた久玉っ子

○自分のペースで五分間走を走りきり、直言タイムを軽くクリアした久玉っ子

○休日に家族で、「久玉版SASUKE」に取り組み、体力向上に努めた久玉っ子

○「ぐんぐんタイム」に真剣に取り組んだり、進んで「今月の詩」の暗唱に挑戦したりするなど、やる気を大いに発揮した久玉っ子

数え上げればきりがありません。

通知表をご覧になりながらご家族で二学期を振り返っていただき、我が家の「久玉っ子」の「新しい自分」について話し合ってみてください。

冬休みは楽しいことが続きます。人、車、お金等、ものの出入りが激しい時期でもあります。思わぬ事故や事件に巻き込まれることがないよう願っています。気を緩めてしまわないよう、私たち大人が気をつけなければなりません。短い期間ですが、この時期の過ごし方が三学期の学校生活に大きく影響します。ご家族で有意義にお過ごしください。

今日は本田校長先生が教員になって１３４１５日目
そして、平成２８年３月３１日は１３５１３日目

MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR

いい2015年でした

久玉っ子のがんばりを、成長を、たくさん見ることができた、2015年でした。

運動会、無言掃除、ぐんぐんたいむ、プール開放、道徳授業実践交流会、学校訪問、持久走大会、各種部活動の大会等、振り返れば実にたくさんの取組がありました。

それらは、子どもたちのがんばり、家庭での励まし、地域のあたたかい眼、先生たちの支援、いろいろな要素が絶妙なハーモニーを奏でた成果です。

子どもたちの成長とこれからの課題を「通知表」に記載しています。家庭で「何を取り組むともっと成長できるか」を一緒に振り返って、新しい目標を立てていただければと思います。

MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR

2016年はもっといい年になります

MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR

「レジ打ちの女性」

「涙の数だけ大きくなれる！」木下晴弘著（フォレスト出版）より

その女性は何をしても続かない人でした。最初彼女はメーカー系の企業に就職します。ところが仕事が続きません。３か月もしないうちに上司と衝突し、あっという間にやめてしまいました。

次に選んだ就職先も、その次の入った会社も、「やはりこの仕事じゃない」と言ってやめてしまいました。ついに彼女は正社員として採用してもらえなくなりました。

しかし、生活のためには働かないわけにはいきません。田舎の両親は早く帰って来いと言います。

結局、彼女は派遣会社に登録しましたが、派遣も務まりません。すぐにトラブルを起こし、いやなことがあればその仕事をやめてしまうのです。

ある日のことです。彼女に、新しい仕事先の紹介が届きました。スーパーでレジを打つ仕事でした。当時のレジスターは、値段をいちいちキーボードに打ち込まなくてはならず、多少はタイピングの訓練を必要とする仕事でした。

ところが、１週間もすると、彼女はレジ打ちにあきてしまいました。「私はこんな単純作業のためにいるのではない」と考え始めたのです。もっとがんばらなければ、もっと耐えなければだめだということは本人にもわかっていたのです。しかし、どうがんばってもなぜか続かないのです。

そんなとき、

「帰っておいでよ」

受話器の向こうから、お母さんのやさしい声が聞こえてきました。

これで迷いが吹っ切れました。彼女は田舎に帰るつもりであれこれ段ボールに詰め始めました。すると、机の引き出しの奥から１冊のノートが出てきました。小さい頃に書きつづった大切な日記でした。パラパラとめくっているうち、彼女は「私はピアニストになりたい」と書かれているページを発見したのです。そう、小学校時代の夢です。

「そうだ、あの頃、私はピアニストになりたくて、練習をがんばっていたんだ・・・」

彼女は思い出しました。何故かピアノの稽古だけは長く続いていたのです。

「あんなに希望に燃えていた自分が今はどうだろうか。履歴書にはやめてきた会社がいくつも並ぶだけ。そして私は、また今の仕事からも逃げようとしている・・・」

そして彼女は、泣きながらお母さんにこう電話したのです。

「お母さん、私、もう少しここでがんばる」

彼女は、翌日もスーパーへ出勤していきました。

ところが数日後、彼女に、ふとある考えが浮かびます。

「私は昔、ピアノの練習中に繰り返し弾いているうちに、どのキーがどこにあるかを指が覚えていた。そうなったら楽譜を見るだけで弾けるようになった」

彼女は思い出し、心に決めたのです。

「そうだ、レジ打ちを極めてみよう」と。レジは商品ごとに打つボタンがたくさんあります。彼女はまずそれらの配置をすべて覚えることにしました。覚えこんだら、あとは打つ練習です。彼女はピアノを弾くような気持ちでレジを打ち始めました。

そして数日のうちに、ものすごいスピードでレジが打てるようになったのです。

すると、これまでレジのボタンだけ見ていた彼女が、今まで見もしなかったところへ目がいくようになったのです。

そんなある日、いつも期限切れ間近の安いものばかり買うおばあちゃんが、５０００円もする高額付きの立派なタイを カゴに入れてレジに持ってきたのです。彼女は思わずおばあちゃんに話しかけました。

「今日は何かいいことがあったんですか？」

おばあちゃんは言いました。

「孫がね、賞をとったんだよ。今日はそのお祝いなんだよ」

「いいですね。おめでとうございます」

うれしくなった彼女の口から、自然に祝福の言葉が飛び出しました。

お客さんとのコミュニケーションをとることが楽しくなったのは、これがきっかけでした。いつしか彼女はレジに来るお客さんの顔を覚えて、名前まで一致するようになりました。

「今日はこのチョコレートですか。でも今日はもっと安いチョコレートが出てますよ」「今日はカツオの方がいいですよ」などと言うようになったのです。レジに並んでいたお客さんも答えます。

「ありがとう。今から換えてくるわ」

彼女は、だんだんこの仕事が楽しくなってきました。

そんなある日のことでした。「今日はすごく忙しい」と思いながら、彼女はいつものようにお客さんとの会話を楽しみつつレジを打っていると、店内放送が響きました。

「本日は込み合いまして大変申し訳ありません。どうぞ空いているレジにお回りください」

ところが、わずかな間をおいて、また放送が入ります。

「本日は込み合いまして大変申し訳ありません。重ねて申し上げますが、どうぞ空いているレジの方へお回りください」

そして３回目、同じ放送が聞こえてきたときに、初めて彼女はおかしいと気づき、周りを見渡して驚きました。

どうしたことかほかのレジが全部空いているのに、お客さんは自分のレジにしか並んでいなかったのです。店長が駆け寄り、お客さんに「どうぞ空いているレジへお回りください」と言うと、お客さんはこう言いました。

「ほっといて。私は買い物だけに来てるんじゃない。私はあの人としゃべりに来ているんだ。だからこのレジじゃないといやなんだ」

その瞬間、彼女はわっと泣き崩れました。ほかのお客さんが店長に言いました。

「そうそう。私たちはこの人と話をするのが楽しみで来ているんだ。今日の特売は他のスーパーでもやってるよ。だけど私は、このお姉さんと話をしたくてここへ来てるんだ。だからこのレジに並ばせておくれよ」

彼女はボロボロと泣き崩れたまま、レジを打つことができませんでした。

仕事というのはこれほど素晴らしいものなのだと初めて気づいたのです。

そうです。すでに彼女は、昔の自分ではなくなっていたのです。

MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR

平成28年もいい年になりますように

大人向け「ちょっといい話」のプレゼント

だれの言葉でしょう？

最高のプレゼントは
一番
お金をかけた
ものではなく、
一番
多くの愛が
こもって
いるもの。

クリスマス、お正月、と続く冬休み。人の出入りも多く、子どもたちにとって、楽しみな冬休みだと思います。でも、プレゼント、お年玉、ごちそう…変に色めき立つのもどうなのかなと思います。

子どもたちには感謝する心をきちんと言って聞かせたいですね。

心をこめた「ありがとう」です。

（答えは「ヘンリー・ヴァン・ダイク」さんの言葉です。）

【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに

平成２７年１２月２４日
第３２号

天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長　本田勝則